

企画活動名	食物アレルギー児のための英語表現集
フリガナ	ハットリ カナエ
申請者（代表者）氏名	服部 佳苗
団体名（正式名称）	団体名 : ピアサポート F.A.cafe 役職・肩書など: 代表

1. 活動結果要約

食物アレルギーがあっても海外旅行に行くため、何を準備していけばいいのか、どんな情報をどこに確認しておけばいいのか、自分に必要な英語表現は何があるのかなど、何を調べればよいかを確認できるような食物アレルギー患者のためのサポートブックを作成しました。アレルギーの病状は人それぞれ違います。各自が事前に準備をすることで、より具体的に現地での状況をイメージすることができると思えました。今回、試作品を二人のアレルギー患児に使ってもらうことで使い勝手とどのような情報が実際必要だったのかといった検証も行いました。医療監修をお願いしたので緊急時の医療用語なども現地で使用可能です。冊子は負荷試験を行っているあるいは協力している 350 か所の医療機関へサンプルとして配布し、患者の方に紹介してもらおう形をとっています。ホームページやInstagramなどでも紹介するなどして、すでに 60 部をお問い合わせいただいた患者さんに向けて発送しました。食物アレルギーでも海外へ行ってみたいという夢を、無謀な挑戦ではなく、きちんと準備したら実現できるということを知ってもらえる第 1 歩になったと思います。

2. 活動目的

〈取り組む目的と意義〉

食物アレルギーと診断された患者家族にとって、外食する時は事前にレストランのメニューをホームページや電話などで調べて出かけるのが日常です。もちろん国内旅行に行くのなら旅先のレストラン情報、ホテルでアレルギー対応、近隣の緊急病院の場所などを調べ、エピペンの本数や処方薬の確認などの準備が必要です。さらに海外旅行ともなると、原材料が何を使っているのかわからないようなメニュー、滞在国のアレルギー事情、緊急時の対応、ホテルやレストランでのアレルギー表示などわからないことがあり、どうしても行くことをためらってしまいがちです。

しかし近年、学校で海外研修を企画することもあり、子ども一人で送り出さねばならない状況も増加しています。食物アレルギーがあるから行くことを諦めず、安心して旅立つために必要な情報を自ら準備できるよう今回のサポートブックを制作しました。

アレルギー情報があふれかえる現代社会で、正しい情報を必要な方にお届けするためにも、このサポートブックは専門医による医療監修をお願いしています。配布方法についても医療機関にサンプルを置いてもらうことで、正しい情報であることを患者さんが認知できる仕組みを考えています。

今後は学校などで海外研修前の英語教材として活用してもらい、アレルギーでない子どもたちへの啓発活動にも使えたらと思っています。

3. 活動方法

〈実施内容〉

1) 食物アレルギーに関する英語表現集を制作した。

食物アレルギーを持つ患者(1歳～高校生)の家族、海外経験をもつ一般の保護者、日本に住むアメリカ人、高校教師、アレルギーエデュケーターなど多方面の方々から要望や意見をくみ取り制作した。また、実際に中学生、高校生2名に海外へ試作品を使ってもらった感想も参考にした。

2) 今までサインプレートなどを取り寄せしてもらった全国の 350 医療機関へ周知した。

2 月小児アレルギー学会で周知を行うとともに、100 か所の医療機関へサンプルとして掲示してもらえよう配布。さらに 250 か所の医療機関へ案内を送付した。

ホームページやインスタグラム、フェイスブックなど SNS にて配信も開始、さらに季刊誌を制作し、今回の制作に至った経緯などを紹介した。

3) PDF で無料ダウンロード設定を計画。(6 月中)

〈計画から外れた内容〉

- ・制作は試作品を使ってもらった感想なども反映したり、海外の方からの意見も入れたため、印刷時期がギリギリになってしまい、さらに年度末の紙不足も重なったことから 4 月に印刷することとなってしまった。
- ・当初計画していた NPO 法人 MELSA (医療英語学習支援会) による医療英語と英会話の監修を依頼せず、より利用者に近い目線で中高生の英語レベルにあわせて制作するため、高等学校英語科の教師陣に英語監修として参加してもらった。

4. 結果及び波及効果

〈本活動の結果と所期の結果について〉

完成した「食物アレルギーサポートブック」は、4 月以降、配布を開始してからすでに 60 部ほどのお問い合わせをいただき、実際手に取った方が SNS で紹介してくれるなど、食物アレルギーがあっても海外旅行へ行きたいという家族の期待に応えられたと感じています。

実際のご利用者の声 (一部)

「アレルギーだからって、やれる事を制限してほしくない! っと、色々、試行錯誤しながら、挑戦して来ましたが、頭の片隅で、海外旅行は、無理だなあっと、、、本当、このような冊子は、アレルギーっ子にとって、世界が広がると思います。ありがとうございます。」

「息子の母校以外にもアレルギー生徒さんのサポートをし、旅行会社の担当者によって大きな差

があることを実感しました。学校旅行を扱う企業に対して、こちらの Book を通して働きかけが出来たら良いなと思いました。」

「あきらめていた夢を実現できるよう、若者を応援したいです。ぜひ旅行会社への啓蒙もよろしくをお願いします。」

ご利用者の声から、当初考えていた海外旅行へ行くハードルを低くするための手助けをする冊子を作るという目的は達成されたと考えます。 今後はさらに多くの方に手に取ってもらえるよう引き続き当団体のホームページやインスタグラムなどを通して周知していきたいと思います。なお冊子の印刷は今回限りとし、PDF 配信を開始し、最新情報を更新できる仕組みとします。

〈波及効果〉

食物アレルギーのある子どもが海外旅行へ行くためには、家族だけでなく、学校関係者、友人、旅行会社、滞在先の関係者、航空会社など多くの方がかかわっています。患者本人ひとりが注意するだけでなく、こうした取り巻く周囲の人々を巻き込んだアレルギー対応が求められます。学校関係者への啓発はもちろんのこと、修学旅行などを企画運営する旅行会社への働きかけができないかのご利用者から声をいただいたことを受け、今後は旅行業界への積極的な広報も検討しています。さらにはオリンピックや増え続ける外国人観光客などのインバウンド需要に備え、外国人が多く訪れる飲食店の食品表示の整備を目指している消費者庁や観光庁など関係省庁に接触を試み、積極的に広く展開できる方法を模索していきます。

5. 今後の活動について

〈助成期間終了後の計画〉

- ・ホームページ上でダウンロード配信という形でコストを極力かけず、最新情報を随時反映させながら情報発信を継続して行きます。
- ・当会の活動拠点である藤沢市は 2020 年のオリンピックセーリング競技の開催地です。日本国内でのアレルギー誤食事故防止の為に、セーリング団体への配布を予定しています。

(初版は日本セーリング連盟の協力をいただいて既に各国のコーチに配布済み)

- ・必要な方に情報がいきわたるよう、専門学会と行政を通じて積極的な発信をして参ります。
- ・教育委員会等行政と連携し、学校での修学旅行引率対応に活用して、教職員や引率者の負担軽減に繋がります。

以上